

宮崎県の歴史・近畿東海シリーズ	佐土原 420 周年ニュース
日州佐土原編⑬京・伏見 11	No.13
近畿佐土原会 令和4年12月26日	

○ 12月6日 京都伏見・桃山町島津

初代佐土原藩主『島津右馬頭以久公屋敷』

いよいよ発掘調査スタート!! 年内は26日迄、新年5日から再開

【 2023年 フェニックス佐土原再興復活 420周年!! 】

《1603年11月20日 京都伏見城 佐土原返還決定!》

秀吉、家康の時代から真正面に天王山に連なる山並みを見据えてきた、佐土原島津公屋敷。いよいよ、400有余年の年月を経て、当時の屋敷跡が少しずつ姿を現し始めました。「国立森林総合研究所」の竹林研究林「島津実験林」跡地は6月の伐採作業、8月の試掘作業、10月の抜根整地作業を経て、ついに今月6日から発掘本調査が始まりました。8月の試掘初日早々、最初の試掘一本目から遺構が確認されましたが、伐採後も400年前の地盤の上の表土の竹根が堅く、抜根作業にひと月かかり、ほぼ一ヶ月発掘作業開始がずれ込んでいました。

今回、地元伏見の発掘調査専門会社が担当し、工期約半年、前半3月頃まで敷地南半分、後半を北半分約3ヶ月に分けられます。現在、南半分の表土はほぼ削り終え、以久公屋敷時代の土面の全貌が明らかになりました。細部の本格的な調査は年明けからの予定です。

2016年に同町内の小規模な発掘調査で金瓦が出土した際、分家の屋敷としてはありえず宗家屋敷だ。また宗家忠恒公屋敷で亡くなった家老伊集院忠棟の屋敷では?など専門家のやっかみもありますが、今回の発掘調査で真相が解明されるか、2023年の期待が高まります!

2023年は、京都伏見発掘情報+近畿東海地区の佐土原ゆかりの町々の史跡、芦屋・尼崎、大坂、草津、関ヶ原・上石津、桑名など全部紹介していきます。お楽しみにして下さい!!

